

泉区シニアクラブ連合会 会員増強運動総決起大会 2024年2月8日(木)

市老連「活性化プロジェクト」について

～5つの事例検討項目:18区の取組～

横浜市老人クラブ連合会 活性化インストラクター 牧 素子

横浜市老人クラブ連合会の状況 (市人口約377万人、18区、1区平均約20万人)

ア 会員数(新規加入者数と退会者数) (ピーク平成12年約13万人)

年度	会員数	前年比	加入者数	前年比	退会者数	前年比
2017(平成29)	112,890	-1,504	8,197	-227	9,701	-38
2018(平成30)	110,783	-2,107	8,054	-143	10,161	460
2019(令和元)	107,973	-2,810	7,324	-730	10,134	-27
2020(令和2)	103,818	-4,155	6,081	-1,243	10,236	102
2021(令和3)	97,531	-6,287	4,287	-1,794	10,574	338

86,762

イ クラブ解散数及び解散に伴う会員減

年度	クラブ数	前年比	新設	解散・休会	解散等による会員数減
2017(平成29)	1,647	-8	23	31	1,356
2018(平成30)	1,628	-19	22	41	1,826
2019(令和元)	1,595	-33	19	52	1,941
2020(令和2)	1,554	-41	8	49	2,211
2021(令和3)	1,503	-51	12	63	3,040

1,404

未設置地域（全体の約50%に）

- ・市内自治会・町内会数 2,844団体(2023.4.1現在)
- ・市老連老人クラブ数 1,404クラブ(2023.4.1現在)
- ・未設置率 49.3%

区	鶴見	神奈川	西	中	南	港南	保土ヶ谷	旭	磯子
町内会数	126	176	99	131	205	170	194	236	165
老人クラブ数	115	123	43	51	112	71	106	137	58
設置率	91.3%	69.9%	43.4%	38.9%	54.6%	41.8%	54.6%	58.1%	35.2%

区	金沢	港北	緑	青葉	都筑	戸塚	栄	泉	瀬谷
町内会数	167	152	122	163	123	221	88	153	153
老人クラブ数	74	75	77	78	52	88	55	81	53
設置率	44.3%	49.3%	63.1%	47.9%	42.3%	39.8%	62.5%	52.9%	34.6%

横浜市町内会連合会民明資料
 令和4年1月12日
 健康福祉局高齢政策課

老人クラブの現状と課題について

1 趣旨
老人クラブの現状や課題について情報共有させていただくとともに、活動を推進していくにあたっての今後の連携や御協力について依頼します。

2 概要
(1) 老人クラブの現状と課題について
横浜市の65歳以上の高齢者人口は令和22年にかけて増加し続け、令和2年の高齢化率24.8%が、令和22年には33.2%となり「3人に1人が高齢者」となる見込みです。一方、老人クラブのクラブ数は、直近5年間で144のクラブ数が減少し、令和2年度は市全体で1,503クラブとなっています。また、会員数も直近5年間で15,359人減少し、令和2年度は市全体で97,531人となっています。
特に令和2年度は、63のクラブが解散又は休止等で減少するとともに、会員数も6,287人減少し、これまでで最も大きな減少数となりました。
原因としては、会長が高齢等を理由に引退したことにより、後任となる人材の確保ができないことや、会の活動が停滞することにより解散となるクラブが多く見受けられます。
高齢者が住み慣れた地域で、仲間づくりや地域づくり、そして地域づくりを遂げ、元気で明るく高齢者相互の支え合いの社会を築いていくために、老人クラブの活動を推進していく必要があります。

◆市老連老人クラブ数 1,503クラブ（単位1,486、ミニ17） 2021.4.1現在
 直近5年間のクラブ減少数 合計△144クラブ
 ◆市老連老人クラブ会員数 97,531人（単位クラブ・ミニクラブ合計）
 直近5年間の会員減少数 合計△15,359人

(2) 今後の取組
老人クラブの活動を推進するために、横浜市老人クラブ連合会では、会員の加入促進・減少防止を図る取組として、老人クラブがない地域への老人クラブ設置、新たなリーダーの養成、非会員への各種イベントへの参加促進等を検討しています。

(3) 連携・ご協力をお願い
老人クラブとしても自治会町内会の活動に積極的に関わり、一層に地域を盛り上げていきたいと考えております。
次の取組について区老連や各クラブから相談があった際には、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。
ア 広報等について
老人クラブの活動を幅広く知っていただくための区連合会及び地区連合会等での説明機会、回覧、掲示物等のご協力について。
イ クラブの設置等について
老人クラブがない地域への老人クラブ設置、老人クラブがない地域に住む高齢者の近隣の老人クラブでの受け入れについて。

その効果・・・芳しくない

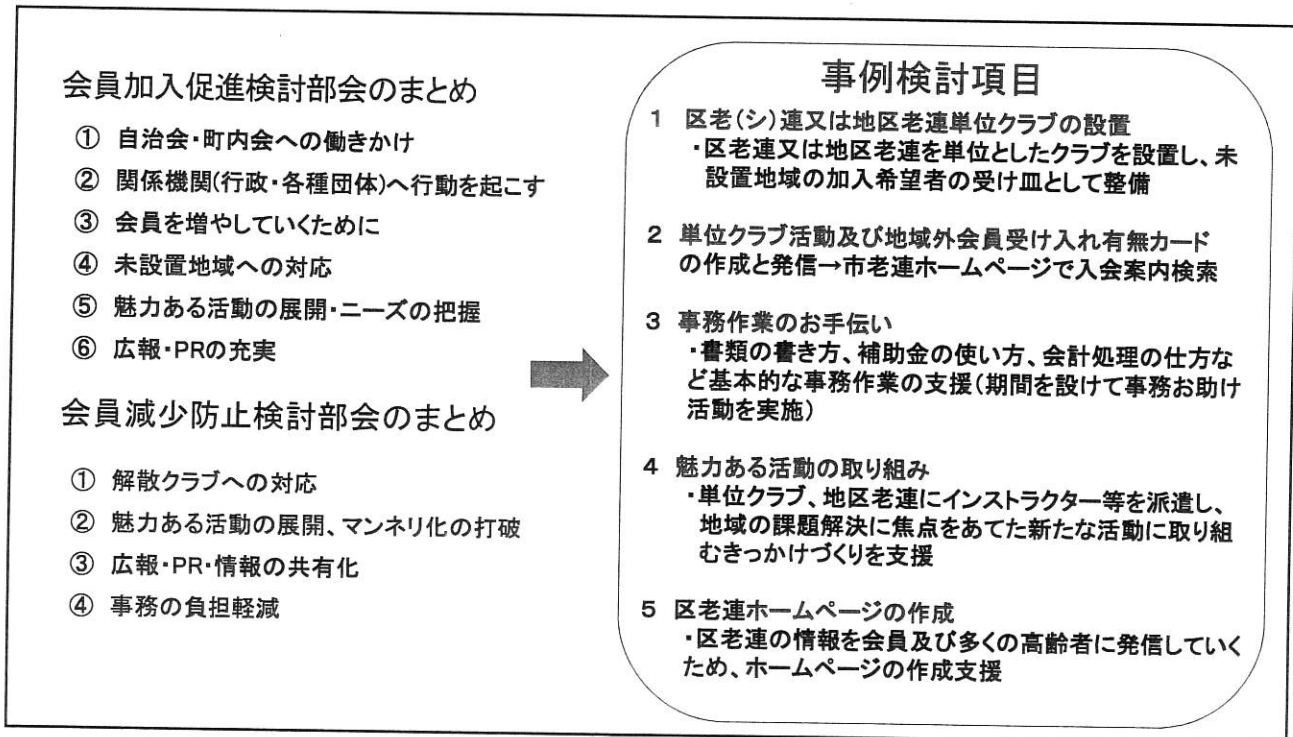
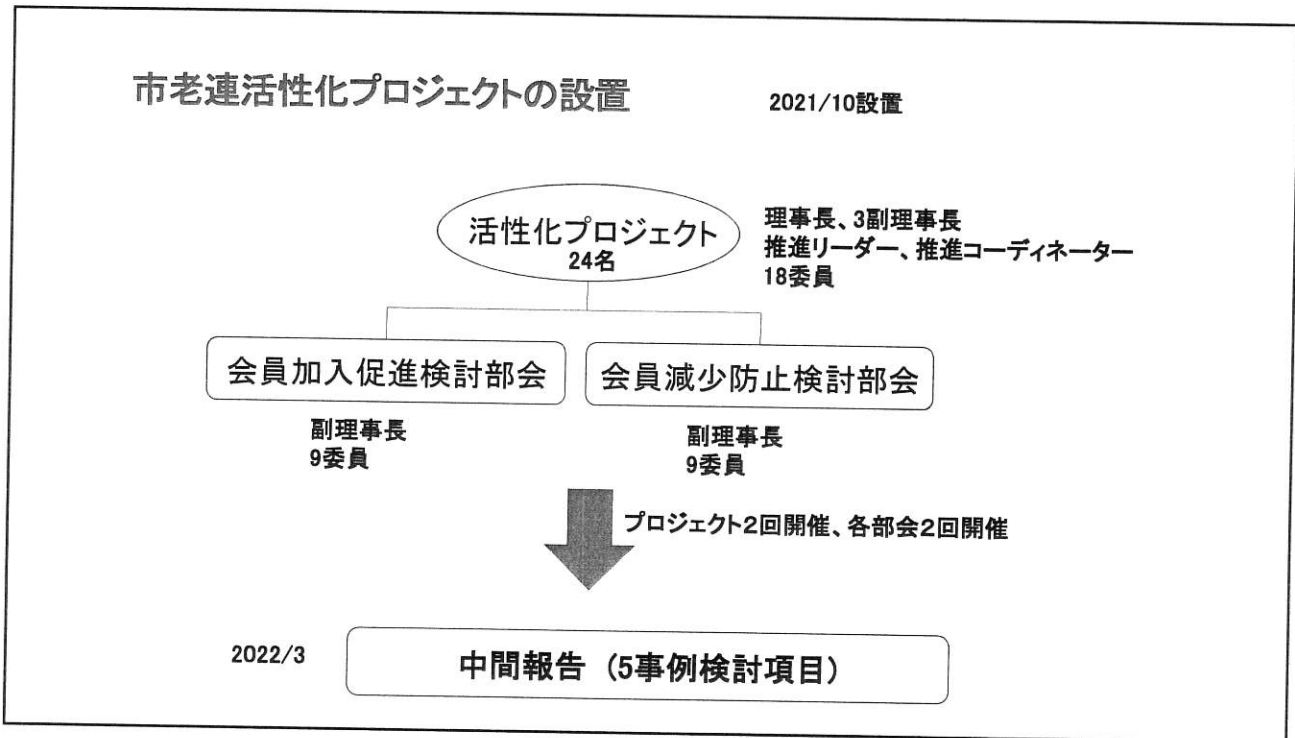
➔

理由

- ・自治会・町内会側も人材不足
立ち上げや面倒は見きれない
- ・地域からそういう要望がない
- ・逆に自治会・町内会があれば
老人クラブは要らない

➡

まず我々が自力でできることから始めよう！



活性化プロジェクト 市内18区での現在の取り組みの状況

1 区老(シ)連又は地区老連単位クラブの設置

◎区単位クラブ 4区設置 ◎地区単位クラブ 4区設置 ◎既存の単位クラブの範囲拡大 3区対応

2 単位クラブ活動及び地域外会員受け入れ有無カードの作成と発信

◎18区対応

3 事務作業のお手伝い

◎5区対応 3区検討中

4 魅力ある活動の紹介

◎14区対応

5 区老連ホームページの作成

◎既設置6区 ◎今年度設置4区 ◎これから設置(今年度中)5区

1 区老(シ)連又は地区老連単位クラブの設置

区老(シ)連又は地区老連を単位としたクラブを設置し、未設置地域の老人クラブ加入希望者の受け皿として整備

取組1 区老(シ)連単位クラブを設置して受け入れる

取組2 地区老連単位クラブを設置して受け入れる

取組1と2の課題 ①活動場所の確保 ②役員を選出 ③活動場所までの距離 など

取組3 既存の単位老人クラブが受け入れる

・近隣の非会員を受け入れる

・地区老連の範囲及び区内全域の非会員を受け入れる

課題 ①自治会町内会の規約や考え方(地域外居住者を受け入れない)がネック

②自治会町内会との関係性により、単位老人クラブの対応は様々

取組4 休会クラブ、解散クラブへの働きかけ⇒会長のなり手がいない等基本の問題を解決

取組5 基本の単位老人クラブを新規に立ち上げる

2 単位クラブ活動及び地域外会員受け入れ有無カードの作成と発信

カードを作成し、その情報(カード)が誰でも見られるようホームページへ掲載
単位老人クラブ活動の基本情報を把握

取組1 調査を実施する

- ・単位老人クラブの活動状況や地域外高齢者受け入れについて確認
⇒検討項目1の「取組3 既存の老人クラブが受入れる」と関連する
- ・調査した情報をまとめ、未設置地区の解消に向けた対策につなげる

- 課題** ①区老(シ)連の対策に必要な調査の内容を策定(今後取り組む場合)
②調査によって得た情報を活用し、HPなどを使って周知する

3 事務作業のお手伝い

書類の書き方、補助金の使い方、会計処理の仕方など基本的な事務作業の支援
単位老人クラブや事務局の事務作業が円滑に進むための工夫

取組1 単位老人クラブに対して、定例の理事会や研修会で説明する
または、事務局が個別に対応

取組2 補助金の使い方について、変更点があった場合は、理事会レジュメに載せ周知

取組3 単位老人クラブの名簿をデータ化(CD)してメンテナンスを楽にした

- 全体的な課題** ①単位老人クラブ(会長、会計)に対して十分な説明が必要
②活性化にとっては必要な取組であるので、計画的に進める

4 魅力ある活動の紹介

単位クラブ、地区老連にインストラクターを派遣し、ニューシニアスポーツを紹介し、新たな活動に取り組むきっかけづくりを支援

取組1 魅力ある活動についてアンケートを実施し検討

取組2 インストラクター派遣制度を設ける、指導者を育成する

取組3 希望する地区や単位クラブへ出向き体験会を開催または、用具の貸出を行う
(種目:ポッチャ、ふまねっと、スリッパ卓球 等)

取組4 区の広報誌やタウンニュースに活動内容を掲載、ラジオで単位クラブや区老連行事を紹介

- 全体的な課題
- ①老人クラブの活動が知られていない現状
⇒非会員への周知(チラシ、HP、ロコミ等)
 - ②非会員が参加できる活動を実施⇒行事の中に非会員の体験枠を設ける等
 - ③区により活動は様々(現在は、スポーツ系の活動が多く取り組まれている)
⇒文化系の活動について検討する

5 区老連ホームページの作成

区老(シ)連の情報を会員及び多くの高齢者に発信していくため、ホームページの作成支援 (ホームページの充実、構築と運用、情報の発信)

- HP作成者、協力者について
- 業者名や使用ソフト名について
- 費用について(作成費用、維持費用 等)
- 更新について(頻度、担当者 等)
- 掲載内容について

18区を訪問して再認識したこと

○老人クラブのPR

○魅力ある活動とは

○永遠の課題

- ・会長の担い手
- ・後継者の育成

日頃の活動をもっと知ってもらうことの大切さ

日頃の会員の皆さんが当たり前に行っている活動や新しく始めたことを
粛々とやるだけでなく、50代、60代の高齢者も興味を持つ活動として
地域でもっと広報していくことが必要。



そのためには、会報やチラシ配布、町内会掲示板への掲載だけでなく、
その情報をホームページ、SNSなどに上げていくことが必要

→地域の人のみならず、他の団体や企業をはじめ多くの人に
知ってもらえることになる



参加者・賛同者・協力者・連携してくれる人が増える

魅力ある活動とは!?

参考「中間とりまとめ」資料

魅力ある活動の展開・ニーズの把握、マンネリ化の打破

- ・年齢差や個人の希望するものに異なりがあり、希望する活動が行われていない。
- ・従来からの活動にとどまり、今の需要(ニーズ)に応えられていない。
- ・会員が希望する活動の把握が行われていない。
- ・単位クラブではいくつものサークル活動を行っていくことは困難。



- ・会員の希望を把握する
- ・隣接する単位クラブ又は地区老連内で一緒に活動を行う仕組みをつくる(複数のクラブの参加により参加者が確保される)
- ・非会員の参加も可能とする(仲間づくりと将来の会員獲得)

会長を引受ける人がいない

参考「中間とりまとめ」資料

- ・会長が辞めてしまい後継者不在のため、解散が余儀なくされる。
- ・会員は老人クラブ活動を続けたくても、会長の担い手がないため退会に追い込まれる。



- ・自治会・町内会に働きかけて会長の担い手の確保
- ・会長の業務を複数の人に分散(負担の軽減)

どのように後継者を育てるのか 例 港南区笹寿会の場合

- ① 若いリーダーによる新しい高齢社会を目標にした “ヒトづくり”
- ② 老人会の役員（お世話役）と会員に
やりたいことをやらせてもらう “組織風土づくり”



高齢者の「集いの場」からの三世代交流の実践(全員参加の場づくり)
広く高齢者の日常生活に密着した支援(楽しい交流)

2024年度に向けて 1

単位クラブ活動及び地域外会員受け入れ有無カードの作成と発信 3点(ア、イ、ウ)の調査資料を活用しましょう!

- (ア) 単位クラブの活動内容
- (イ) 単位クラブの会員の受入れ方針
- (ウ) 自治会町内会と老人クラブの対比表(自治会町内会内の老人クラブの有無)

- ① ア、イ資料は、新規加入希望者からの問い合わせに活用
- ② ウの「自治会町内会と老人クラブの対比表」で老人クラブ未設置地域を把握し、未設置地域や非会員に対して老人クラブ活動を周知・PR
- ③ 自治会内の「老人部」の情報を把握→単位老人クラブとして組織化

2024年度に向けて 2

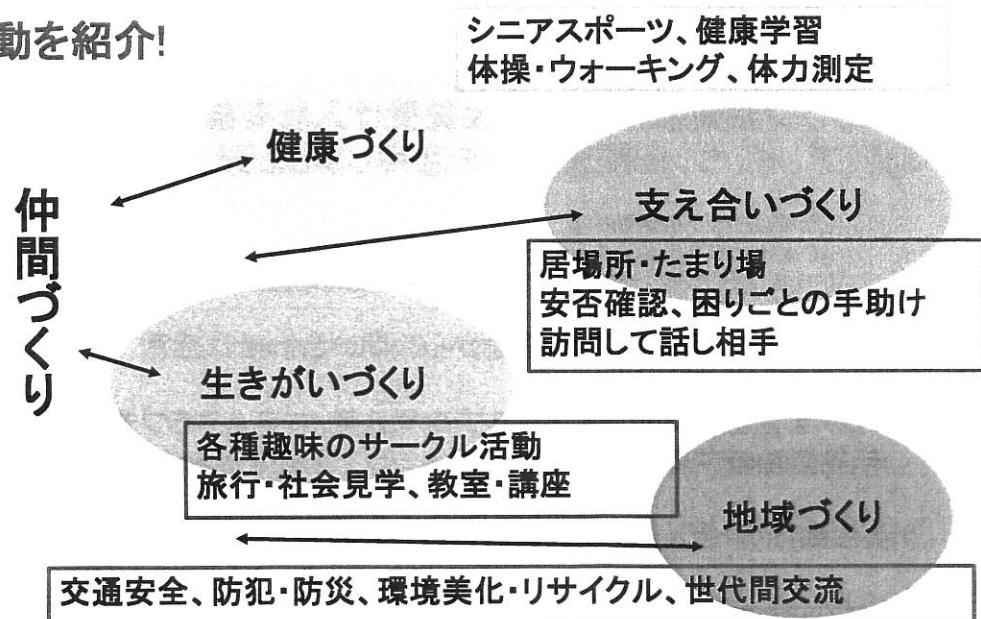
老人クラブのPR

非会員に老人クラブ活動をもっと知ってもらいましょう！

老人クラブが取り組むさまざまな活動が高齢者の暮らしを支えています。

魅力ある活動、楽しい活動を紹介しましょう！

多彩な活動を紹介!



健康づくり 仲間と一緒に続けられる

支え合いづくり
助け合える仲間がいるって心強い

生きがいづくり
楽しむうちに意欲がわいてくる

地域づくり
自分が役に立っていると実感できる

全国老人クラブ連合会
友愛活動リーフレット

老人クラブがめざす

友愛活動



全国老人クラブ連合会

こんなに広がっています友愛活動

老人クラブが取り組むさまざまな活動が
高齢者の暮らしを支えています。
あなたのクラブではどんな活動に取り組んでいますか？



